



第一回 終活シンポジウムを 開催しました

米の山病院HPH推進委員会主催で、「第1回終活シンポジウム」を5月25日（土）、職員・友の会会員・近隣の医療・介護施設より56名の参加で開催しました。まずコーディネーターの米の山病院長 崎山博司医師から今回の開催趣旨と問題提起を受け、パネリストより報告がありました。パネリストのみさき病院矢野香 織医師から「看取りの事例について」、当院川口信之医師から「延命措置について」、大牟田市社会福祉協議会馬場朋文氏から「エンディングノートについて」、友の会 北岡恭子氏から「患者・家族の立場で」、最後に久留米第一法律事務所市橋康之弁護士から「リビングウィル、看取り、延命に関する法律について」報告をいただき、ディスカッションに移りました。フロアーからも質問や意見を多くいただき、活発な討論ができました。

参加者からの感想には「終活はまだ先のことだと思っていた。自分の最後を家族の為に意思表示をしたい」、「自分だけではなく、家族の為に必要な事」、「次回はその終活発表会も開催して欲しい」等の貴重なご意見も数多くいただきました。

健康増進課課長 増田 宏伸



米の山病院小児科・小児リハビリでは、春の遠足として毎年様々な行事を企画・開催しています。今年は8年ぶりに動物園への遠足を企画し、5月12日(日)に8家族(子ども15名・大人11名)とスタッフ・ボランティア22名の総勢48名で大牟田市動物園に行きました。

遠足当日は天気も良く初夏のような暑さでしたが、子ども達は水分補給しながら元気いっぱい参加してくれました。動物をじっくり見るとはもちろん、園内を2往復した子や、ダンゴ虫を捕るために虫かごを持参した子、ボールを持参し広場で遊ぶ子もいて、ボランティアスタッフと共に、思い思いの時間を過ごしました。

また、モルモットとのふれあいやライオン舎の裏側見学など様々な事を体験、園内3ヶ所でのシールを集める小児リハ独自のスタンプラリーを行い、最後にお菓子と交換した子ども達も最後まで嬉しそうでした。



リハビリテーション科

作業療法士 福崎 千浩

2019年度 米の山病院消防避難訓練



5月30日(木)、米の山病院にて前期の消防避難訓練を実施しました。60名の病院職員が参加しました。

火災元では、病棟職員の【火事だ!! 火事だ!!】と鳴り響く声がとてもたくましく感じました。非常放送を聞き、駆けつけてくる職員に初期消火や避難誘導の指示をする師長からは緊張感が伝わり、職員1人1人が真剣に取り組めた消防避難訓練と感じました。その一方緊張感が足りないといった意見もあり次回の課題となりました。

災害はいつどこで発生するか予測が出来ません。そのため、訓練を繰り返し実施して、万が一の時には消防隊が到着するまで職員全員で迅速に初動動作を遂行できるように備えましょう。

施設課 課長 古賀 敬敏

職場紹介

総務課



総務課は現在3名の職員が勤務しています。

よく「総務は何をしているの?」と聞かれますが、病院全体に関する事務部門で、ヒト・モノ・カネを扱う職場になります。

詳しく分けると、①ヒトは、勤怠の確認、入退職の手続き、契約書などの書類点検、②モノは、消耗品発注や、機械などのトラブル対応、③カネは、精算や支払い、会計などがあります。

毎日の業務は、会計・伝票起票や入力・日報作成・電話対応・トラブル対応・業者さん対応・社保活動の集約や書類の配布など行っています。忙しくバタバタしている時もありますが、見かけた際は、お気軽にお声掛け下さい。

今後も職員3名で頑張っていきたいので、よろしくお願ひします。

総務課 井上 令菜

福岡・佐賀民医連第43期平和学校(全3クール)に参加して

県連反核平和委員会主催の福岡・佐賀民医連第43期平和学校(全3クール)に参加させて頂いています。現在、第2クールまで終了しており、第1クールでは佐世保基地周辺のフィールドワーク、長崎県平和委員会の冨塚明氏による「戦争する国づくりの実態」についての講演を踏まえグループにわかれてのワークシヨップが行われました。日本が戦争できる国になろうとしている実態や、佐世保など米軍の支配下におかれた施設が多数存在し、危険が身近にあるという事を改めて感じました。

第2クールでは「医療者がなぜ平和運動に取り組むのか」「加害者としての戦争 太平洋戦争」の講義を踏まえてのワークシヨップが行われました。被害者意識が強かった戦争のイメージが一気にひっくり返されたような気になりました。歴史を知り、今後どうあっていくべきなのかをとても考えさせられる機会になりました。

リハビリテーション科
理学療法士 福岡 博之

築城基地の米軍基地化に反対する 福岡集会に参加して

今にも雨が降りそうな中、集会は築城町長のメッセージに始まり、沖縄の報告、地元報告と続いている時、突然の爆音が空から降ってきた。空は雲で覆われていて、その音の正体は見えないが、F2戦闘機のものだという。あの爆音のせいで築城の小・中学校の窓は二重になっていたのでさうだ。実際、近くの小学校を見せてもらったが、その通り二重の窓であった。沖縄でも似たような措置が取られているという。

築城基地の米軍基地化が沖縄の負担軽減につながると言われているが、普天間は継続利用のための改修が行われ、基地として固定化が進められている。築城における米軍基地化は沖縄とは無関係に進められようとしている。一度米軍基地となってしまうと米軍のルールで基地が使用され、日本国民の思いも願いもあつたものではない。昼も夜も爆音の程も関係ない。民間の敷地への落下物や墜落事故も当然あり、その事に対しての謝罪はないのだ。

ちなみに、この日集った人は約1500名。とても元気のよい集会だった。

5階北病棟
介護福祉士 新本 弘幸



米の山病院

理念と基本方針

理念

わたしたちは、患者の権利を守り、安全・安心・信頼の医療・福祉の実現に全力を尽くします。

基本方針

1. 地域にやさしい病院づくりをめざします。

高齢化が著しく進む有明地域において、必要な医療・介護が提供できる病院をめざします。また、差額ベッド料などの差額は徴収しません。

2. 医療の安全性を追求します。

患者・地域住民が、「安心して受診できる」「信頼できる」病院をめざします。

3. 医療機関・施設、地域との連携を推進します。

医療機関・施設との連携をはじめ、友の会と共に地域全体で患者をみていく「地域完結型」の医療・福祉をめざします。また、平和を守ることや社会保障制度を改善していく取り組みなども広めていきます。

4. 臨床研修病院としての役割を發揮します。

医師をはじめとした医療従事者を確保し、地域に貢献できる医療人を育成します。

桃薔薇レアチーズケーキ



栄養科 調理師
井上 瑠莉亜



材料 (目安: ケーキ用丸型15cm1台分)

☆レアチーズケーキ

- ・ビスケット……………70g
- ・無塩バター……………30g
- ・クリームチーズ……………200g (常温にしておく)
- ・グラニュー糖……………60g
- ・プレーンヨーグルト…100g
- ・レモン汁……………大さじ1
- ・生クリーム……………150ml
- ・粉ゼラチン……………5g
- ・水……………大さじ2

☆飾り(桃薔薇ゼリー)

- ・桃缶……………1缶
(シロップも使用)
- ・食紅(赤)……………適量
- ・ゼラチン……………3g

作り方

●レアチーズケーキ

- ①無塩バターを耐熱皿に入れレンジにかけ溶かす。ビスケットを細かく砕き溶かしたバターを入れて馴染ませる。ケーキ型の底全体に敷き詰めて平らになる様に上から押さえつけたら冷蔵庫に入れ冷やす。
- ②クリームチーズを泡立て器で滑らかになるまで混ぜ、グラニュー糖・プレーンヨーグルト・レモン汁を加え混ぜ合わせる。
- ③生クリームを氷水に当てながら少しもったりするまで立てる。
- ④耐熱皿にゼラチンと水を入れふやかす、ある程度溶けるまでレンジにかける。(600w30秒程度)
- ⑤②に③を2回に分けて入れ、ゴムベラ等で下からすくうように混ぜ合わせる。
- ⑥①を取り出し、⑤を型に流し入れ表面が平らになる様にする。

●飾り(桃薔薇ゼリー)

- ⑦桃を2~3mmのスライスにする。(食紅で色づけしたシロップに数時間漬けておくとおほんのり赤くなり薔薇っぽさができます)
- ⑧缶詰シロップ(100ml程度)を火にかけ沸いてきたらゼラチンを加え、完全に溶けたら粗熱をとる。(④のようにレンジにかけふやかしておくとおだまになりやすいです)
- ⑨冷やしておいた⑥を取り出し、桃を花びらのように並べ、⑧のシロップをかけ冷蔵庫に入れて3時間程冷やす。

担当者コメント

今回7月の旬でもあり、手軽に缶詰でも手に入る桃を選びました。

みかん缶などの酸味のある缶詰やお好みで生の果物を使うのもおすすめですし、⑥までの工程で出来るレアチーズケーキだけでもジャムソースをかけるなどすることで、より手軽に頂けます。

また、ビスケットは塩味のあるものを使うことで味にひとつアクセントを加えることができます。



クイズ 頭の体操

問題

二つの漢字に同じ部首をくっつけて二字熟語を完成させるゲームです。なんという二字熟語が出来るでしょうか？

田 + 相 = ???

No.93(5月1日号)の答えは **令和** でした。

ご応募ありがとうございました。

当選者は商品の発送をもって代えさせていただきます。

応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAXでも可。×切は2019年8月10日。

機関紙や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

読者の声

☆米の山病院は送迎もあると聞いています。病気になる時は是非お世話になりたいと思っています。

☆新入職員の入社式での言葉を拝見し、私からすると孫位の方々ですが志が実るようエールを送りたい気持ちです。

☆紙面でいろいろな内容を取り上げて頂くので楽しみにしています。

皆様からのお便り
ありがとうございました。



休日当番医のお知らせ

(9:00~18:00) 8月25日

携帯ページはこちらから



アクセスは <http://www.kome-net.or.jp/m/>
または QRコードからどうぞ